

32 タマシギ

(チドリ目)

Rostratula benghalensis

兵庫県ランク: B

繁殖個体群:B 越冬個体群:B 通過個体群:B

環境省ランク: VU

種の概要

アフリカ中南部から南アジア、東南アジア、中国東部、日本南部などに繁殖分布する。繁殖後も多くは繁殖地周辺に生息するが、一部は暖かい地方に移動し越冬する。日本では本州中・南部、四国、九州、沖縄に周年生息し繁殖する。平地の水田、休耕田、ハス田、河川などの湿地に生息し繁殖する。主に甲殻類や貝類、昆虫類の幼虫、ミズ類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、本州北部、飛島、本州中・南西部、佐渡、見島、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、種子島、トカラ列島、奄美大島、琉球諸島



写真提供：加地啓子

(性別：メス(左)、オス(右))

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、★明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、★豊岡市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、★南あわじ市、★たつの市、淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○		○	○	○	○	○	

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内には周年生息し繁殖する。かつては阪神・東播・西播・丹波地域に多数生息していた。圃場整備事業や河川改修、ため池の護岸工事などにより餌の減少や生息環境が失われ、個体数や分布域が急減している。県北部での観察記録も少ない。

保護上の留意点

営巣地が極めて減少しているため、現在繁殖期の生息が確認されているところでは、その生息環境の保全が必要。